

## 目標達成計画

作成日：平成 27 年 10 月 30日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	○思いや意向の把握 ・本人や家族などがケアプラン検討にあまり参加できていない。	・思いや暮らし方について本人や家族の希望や意向をくみ取る機会を増やす。	・継続して生活場面ごとの意思の確認や日常の会話や関わりの中で希望や意志を汲み取っていく。 ・なるべく本人や家族参加の担当者会議にする。 ・モニタリングや評価の際は、確認方法を観察だけでなく、何項目かでもいいので聴き取りを行いコメントをもらうようにしていく。 ・懇談会を開催する。	6ヶ月
2	4	○運営推進会議を活かした取組。 ・併設の特養との合同会議を行っているが、グループホームの入居者、家族、職員が参加できていない。	・グループホーム単独の運営推進会議の定期開催。	・11月～開催していく。 ・11月上旬頃より、参加者の調整を図っていく。	6ヶ月
3	6	○身体拘束をしないケアの実践 ・「身体拘束しないケア」の研修・マニュアル等ができていない。	・身体拘束についての理解や知識を身につけ、身体拘束しないケアの意識づけをする機会を持つ。	・研修を早期に行う。(12月予定している) ・マニュアルの作成する。 ・現在、眠剤やセンサーマット使用している人などモニタリングや評価時に今後必要とするか検討し、状況と結果を家族に伝えていくようにする。	6ヶ月
4	7	○虐待の防止の徹底 ・「高齢者虐待防止」の研修・マニュアル等ができていない。	・虐待についての理解や知識を身につけ、適切なケアができるよう意識づけができるようにしていく。	・研修を早期に行う。(12月に予定している) ・マネージャーや、発見時のフローチャートの整備。 ・リーダーや管理者が職員との面接などで話す機会を持つたり、その他の場面でも気にかけてコミュニケーションを取ることにより、気軽に相談できたり、職員同士でタフエンバシーできる環境を構築する。	6ヶ月
5	35	○災害対策 ・夜間を想定した訓練や様々な災害を想定した訓練、又、具体的な避難や誘導対策への取り組みが必要。 ・地域の人々や他事業所との協力体制での訓練が必要。	①夜間訓練の実施。 ②具体的な内容に限定した避難や訓練の実施。 ③地震や水害対策訓練の実施。 ④地域の人々や他事業所との協力体制での訓練実施。	①②③防災対策委員会で計画実施する。 ④まずは、管理者を中心とし地元消防団、同法人事業所、町内などに依頼し協力体制をつくり、防災対策委員会と協力して計画、実施していく。	①2ヶ月 ②4ヶ月 ③6ヶ月 ④12ヶ月